



2021年4月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年6月11日

上場会社名 HEROZ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4382 URL <https://www.heroz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 隆弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 浅原 大輔 TEL 03(6435)2495
 定時株主総会開催予定日 2021年7月29日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2021年7月30日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期の業績 (2020年5月1日~2021年4月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	1,556	0.8	366	△30.0	294	△35.9	285	△29.4	207	△18.9
2020年4月期	1,544	12.1	523	11.2	459	9.2	404	△2.5	255	△13.9

(参考) 持分法投資損益 2021年4月期 ー百万円 2020年4月期 ー百万円

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	13.85	13.67	3.3	4.4	18.9
2020年4月期	17.84	17.35	6.3	9.4	29.7

※EBITDA (営業利益+減価償却費+敷金償却)

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	6,546	6,403	97.8	426.13
2020年4月期	6,408	6,182	96.5	414.46

(参考) 自己資本 2021年4月期 6,402百万円 2020年4月期 6,182百万円

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	360	△384	15	5,554
2020年4月期	243	△78	3,903	5,562

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2021年4月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2022年4月期 (予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00		ー	

3. 2022年4月期の業績予想 (2021年5月1日~2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	ー	100	ー	90	ー	63	ー	4.19

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+敷金償却) 2022年4月通期 (予想) 280百万円

2022年4月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年4月期	15,025,582株	2020年4月期	14,917,428株
② 期末自己株式数	2021年4月期	一株	2020年4月期	一株
③ 期中平均株式数	2021年4月期	14,952,715株	2020年4月期	14,316,019株

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年6月14日(月)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「驚きを心に」をコンセプトとして、人々の生活が便利に楽しくなるように、人工知能(AI)を活用したサービスをBtoCおよびBtoB領域で展開しております。当社が属するAI市場では、ディープラーニング等の機械学習関連アルゴリズムの高度化に加えて、機械学習に利用可能な計算機の能力向上やデータの増加により、更なる成長が続いております。

当事業年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による経済活動の鈍化等に伴い、国内外において景気が失速するなど、先行きが不透明な状況が続きました。情報サービス業界においては、顧客によるIT投資予算の削減等のリスクが懸念されたほか、在宅勤務等による商談機会減少の影響が見られたものの、一方で「ニューノーマル(新常态)」環境下における業務プロセスやビジネスモデルの変革といったデジタルトランスフォーメーション推進に関する需要拡大等も見られた1年となりました。

このような環境のなか、当社のAI(BtoC)サービスにおいては、全国的な外出自粛影響による巣ごもり需要の活性化やメディア露出・イベント開催等の影響もあり、AIによるサポート機能等を搭載したスマートフォンアプリ「将棋ウォーズ」が引き続き安定した収益を上げました。またAI(BtoB)サービスにおいては、当社のディープラーニング等の機械学習技術を集約したAIサービス「HEROZ Kishin」に関わる業務の標準化を続け、資本業務提携先をはじめとする様々な事業会社へ「HEROZ Kishin」の拡販を進めました。同サービスについては、政府や東京都から発出された緊急事態宣言中の商談機会減少等の影響を受け、初期設定フィーの獲得に遅延が生じておりましたが、ニューノーマル環境下におけるデジタルトランスフォーメーション推進の需要拡大等に伴い、当事業年度末に向けて徐々に回復しました。その他、中長期的な成長戦略を実現するための先行投資によって、採用教育費等の販売費及び一般管理費が増加しております。売上原価においては、人材採用の強化による労務費の増加に加えて、AI(BtoC)サービスの売上増加に応じて課金決済手数料も増加しております。

以上の結果、当事業年度の売上高は1,556,593千円(前年同期比0.8%増)となり、EBITDA(営業利益+減価償却費+敷金償却)366,170千円(前年同期比30.0%減)、営業利益294,180千円(前年同期比35.9%減)、経常利益285,814千円(前年同期比29.4%減)、当期純利益207,146千円(前年同期比18.9%減)となりました。

なお、当社はAI関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績に関する記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における資産の額は、前事業年度末に比べ137,752千円増加し6,546,615千円となりました。

これは主に、流動資産において売掛金の減少143,573千円、固定資産において有形固定資産の増加292,637千円があったこと等によります。

(負債の部)

当事業年度末における負債の額は、前事業年度末に比べ82,618千円減少し143,504千円となりました。

これは主に、未払法人税等の減少71,763千円があったこと等によるものであります。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産の額は、前事業年度末に比べ220,370千円増加し、6,403,111千円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加207,146千円があったこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より8,569千円減少し、5,554,149千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、360,700千円(前年同期は243,498千円の収入)であります。

この主な要因は、税引前当期純利益の計上285,814千円、減価償却費70,648千円、売上債権の減少額143,573千円、法人税等の支払額132,954千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は、384,522千円(前年同期は78,459千円の支出)であります。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出365,434千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果得られた資金は、15,252千円(前年同期は3,903,678千円の収入)であります。

この主な要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入15,171千円があったこと等によります。

(4) 今後の見通し

AIは日進月歩の高度な技術であり、サービス提供できる人材を有する会社数は限定的となっておりますが、当社では本分野の最先端の知見を有する者が多数所属しております。当社は、将棋AI研究で培った最先端の機械学習ノウハウを蓄積した「HEROZ Kishin」をAI(BtoB)サービスとして拡販しております。今後の方針としても引き続き、自社の強みが生き、かつ今後の拡大が見込まれるAI関連市場に経営資源を投入していく所存であり、上記サービスの成長のため、積極的に各種投資を進めてまいります。

AI関連事業においては高度な機械学習を実施するためのサーバ購入等も当面は必要となりますが、当社では一過性の各種償却負担に過度に左右されることのない、持続的な企業価値・株式価値向上を目指しております。したがって、金利・税金・各種償却前利益であるEBITDA(注)を当社の重要な業績指標と考えております。

以上の見通しを踏まえ、更なる企業価値の向上に向けて、当社サービスを拡大していくための人材採用強化や機械学習用のサーバ購入等の先行投資を機動的に行うことを考慮した結果、2022年4月期の業績は、売上高1,700百万円、EBITDA280百万円、営業利益100百万円、経常利益90百万円、当期純利益63百万円を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響については、依然として不透明な状況が続いておりますが、当社の事業活動は概ね正常化しており、現時点においては重要な影響はないものと判断しております。ただし、上記感染症による影響は不確実性が高く、感染拡大による影響を含めた今後の経営環境の変化等によっては、業績予想を変更する可能性があります。

(注) EBITDA

営業利益に各種償却費(減価償却費、敷金償却)を加えて算出される業績指標となります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,562,719	5,554,149
売掛金	329,338	185,765
仕掛品	8,506	1,288
前払費用	28,440	26,164
その他	6,521	19,458
流動資産合計	5,935,526	5,786,826
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,374	11,036
工具、器具及び備品(純額)	119,340	413,315
有形固定資産合計	131,714	424,351
無形固定資産		
ソフトウェア	6,710	17,419
無形固定資産合計	6,710	17,419
投資その他の資産		
投資有価証券	237,817	224,516
長期前払費用	6,156	3,235
繰延税金資産	34,790	30,461
その他	56,146	59,804
投資その他の資産合計	334,910	318,017
固定資産合計	473,336	759,788
資産合計	6,408,863	6,546,615

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,260	22,224
未払金	12,489	23,910
未払費用	16,086	22,445
未払法人税等	101,765	30,002
前受金	17,423	19,874
預り金	6,373	9,128
賞与引当金	8,004	9,026
その他	43,719	6,890
流動負債合計	226,122	143,504
負債合計	226,122	143,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269,373	2,276,959
資本剰余金		
資本準備金	2,208,023	2,215,609
その他資本剰余金	828,620	828,449
資本剰余金合計	3,036,644	3,044,058
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	877,259	1,084,405
利益剰余金合計	877,259	1,084,405
株主資本合計	6,183,276	6,405,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△536	△2,564
評価・換算差額等合計	△536	△2,564
新株予約権	—	252
純資産合計	6,182,740	6,403,111
負債純資産合計	6,408,863	6,546,615

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	1,544,464	1,556,593
売上原価	776,985	851,331
売上総利益	767,479	705,261
販売費及び一般管理費	308,397	411,081
営業利益	459,081	294,180
営業外収益		
受取利息	67	58
出資分配金	38	37
助成金収入	—	1,000
その他	10	6
営業外収益合計	116	1,102
営業外費用		
株式交付費	22,113	—
上場関連費用	22,972	—
投資事業組合運用損	9,540	9,465
その他	1	2
営業外費用合計	54,627	9,467
経常利益	404,571	285,814
特別損失		
投資有価証券評価損	39,712	—
特別損失合計	39,712	—
税引前当期純利益	364,858	285,814
法人税、住民税及び事業税	130,735	73,444
法人税等調整額	△21,259	5,224
法人税等合計	109,476	78,668
当期純利益	255,382	207,146

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)		当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※	264,654	34.2	313,686	37.2
II 経費		510,175	65.8	530,427	62.8
当期総製造費用		774,829	100.0	844,113	100.0
期首仕掛品たな卸高		10,662		8,506	
合計		785,492		852,620	
期末仕掛品たな卸高		8,506		1,288	
売上原価		776,985		851,331	

原価計算の方法

当社の原価計算は、実際個別原価計算であります。

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
課金決済手数料(千円)	201,563	244,902
支払手数料(千円)	37,387	46,405

(3)株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	294,991	233,641	828,620	1,062,262	621,876	621,876	—	1,979,130	
当期変動額									
新株の発行	1,974,382	1,974,382		1,974,382				3,948,764	
当期純利益					255,382	255,382		255,382	
自己株式の取得								—	
自己株式の消却								—	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								—	
当期変動額合計	1,974,382	1,974,382	—	1,974,382	255,382	255,382	—	4,204,146	
当期末残高	2,269,373	2,208,023	828,620	3,036,644	877,259	877,259	—	6,183,276	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	180	180	1,979,310
当期変動額			
新株の発行			3,948,764
当期純利益			255,382
自己株式の取得			—
自己株式の消却			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△716	△716	△716
当期変動額合計	△716	△716	4,203,429
当期末残高	△536	△536	6,182,740

当事業年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	2,269,373	2,208,023	828,620	3,036,644	877,259	877,259	—	6,183,276
当期変動額								
新株の発行	7,585	7,585		7,585				15,171
当期純利益					207,146	207,146		207,146
自己株式の取得							△171	△171
自己株式の消却			△171	△171			171	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								—
当期変動額合計	7,585	7,585	△171	7,414	207,146	207,146	—	222,146
当期末残高	2,276,959	2,215,609	828,449	3,044,058	1,084,405	1,084,405	—	6,405,423

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△536	△536	—	6,182,740
当期変動額				
新株の発行				15,171
当期純利益				207,146
自己株式の取得				△171
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,027	△2,027	252	△1,775
当期変動額合計	△2,027	△2,027	252	220,370
当期末残高	△2,564	△2,564	252	6,403,111

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	364,858	285,814
減価償却費	63,302	70,648
敷金償却	796	1,341
受取利息	△67	△58
出資分配金	△38	△37
助成金収入	—	△1,000
株式交付費	22,113	—
上場関連費用	22,972	—
投資事業組合運用損益(△は益)	9,540	9,465
投資有価証券評価損益(△は益)	39,712	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,140	1,022
売上債権の増減額(△は増加)	△196,990	143,573
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,155	7,218
前払費用の増減額(△は増加)	△7,929	2,275
仕入債務の増減額(△は減少)	△944	1,964
未払金の増減額(△は減少)	△16,882	14,302
未払費用の増減額(△は減少)	△5,994	6,359
預り金の増減額(△は減少)	△7,465	2,755
前受金の増減額(△は減少)	△877	2,451
その他	63,589	△55,536
小計	352,992	492,559
利息の受取額	67	58
出資分配金の受取額	38	37
助成金の受取額	—	1,000
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△109,599	△132,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,498	360,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,122	△365,434
無形固定資産の取得による支出	△1,170	△14,088
敷金及び保証金の差入による支出	△33,167	△5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,459	△384,522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	42,494	15,171
新株予約権の発行による収入	—	252
株式の発行による収入	3,884,156	—
自己株式の取得による支出	—	△171
上場関連費用の支出	△22,972	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,903,678	15,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,068,717	△8,569
現金及び現金同等物の期首残高	1,494,001	5,562,719
現金及び現金同等物の期末残高	5,562,719	5,554,149

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はAI関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額	414.46円	426.13円
1株当たり当期純利益金額	17.84円	13.85円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	17.35円	13.67円

(注) 1. 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	255,382	207,146
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	255,382	207,146
普通株式の期中平均株式数(株)	14,316,019	14,952,715
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	403,299	200,280
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(—)	(—)
(うち新株予約権(株))	(403,299)	(200,280)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。